

琵琶湖大橋有料道路 第6期事業(案)について

1. 追加事業(合計 約84億円)【資料1】

- 琵琶湖大橋の耐震化
 - 周辺道路の4車線化
 - その他(ETCの導入等)
- ・基礎の耐震対策
 - ・現在および将来の混雑箇所の解消

2. 料金徴収期間

料金徴収期間満了日：平成41年8月

3. 通行料金(案)【資料2】

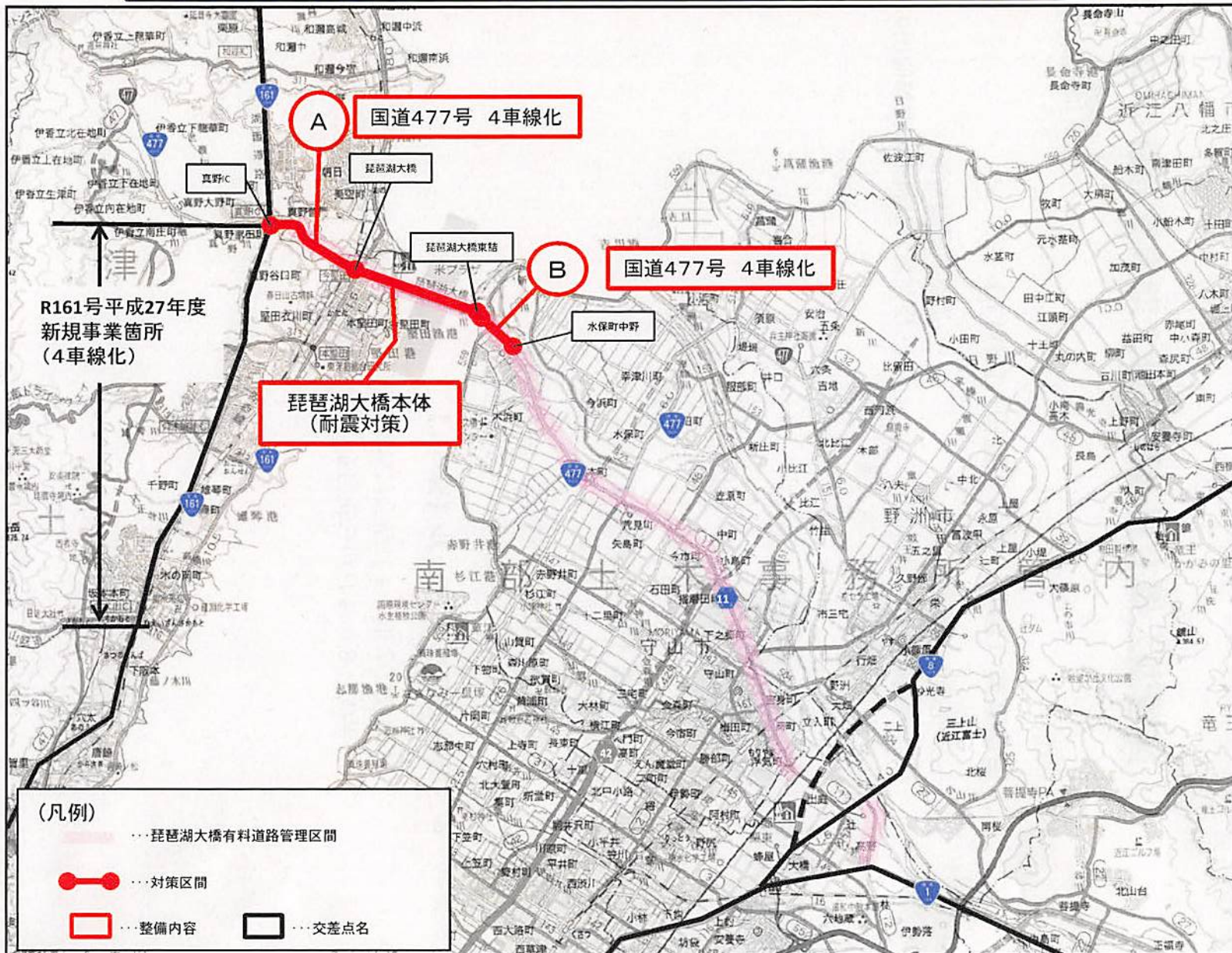
- ・基本料金を値下げ
- ・ETC導入による支払ストレス緩和等

4. 今後のスケジュール【資料3】

- ・平成27年11月議会に議案を上程予定
- ・平成28年4月から新料金スタート予定

追加事業 一位置図一

琵琶湖大橋本体の耐震対策、A、B区間の4車線化を実施



追加事業 —琵琶湖大橋の耐震化—

地震時に落橋させず、地震後においても橋としての機能が応急復旧で速やかに回復できる性能を確保する。

1. これまでの耐震対策と今後の方針

【これまでの耐震対策】

国の通知(H7)等に従い、跨線橋、跨道橋および緊急輸送道路上の15m以上の橋梁(上部・橋脚)について耐震対策を実施

旧橋	H9落橋防止システム設置 H11上部耐震補強工事 H13下部耐震補強工事
新橋	H14落橋防止システム設置 H15下部耐震補強工事



【今後の方針】

緊急輸送道路に指定されている路線上の特殊な下部構造(パイルベント等)を有する橋梁に対する照査を行い、耐震性能を満たしていない場合は対策を行うこととする

(H25.7.9土木事務所長あて文書)

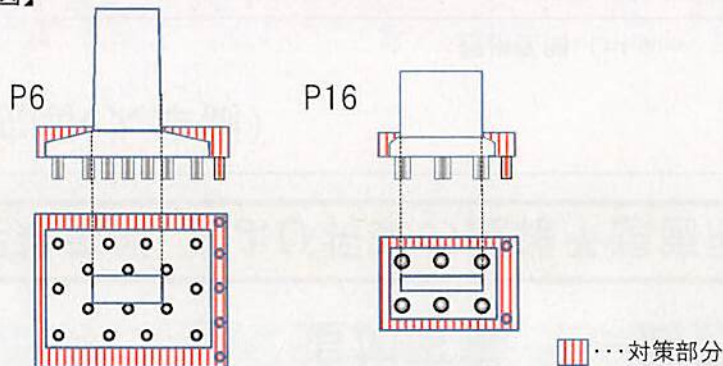
2. 対策内容

基礎の補強工事を実施する。

【約16億円】

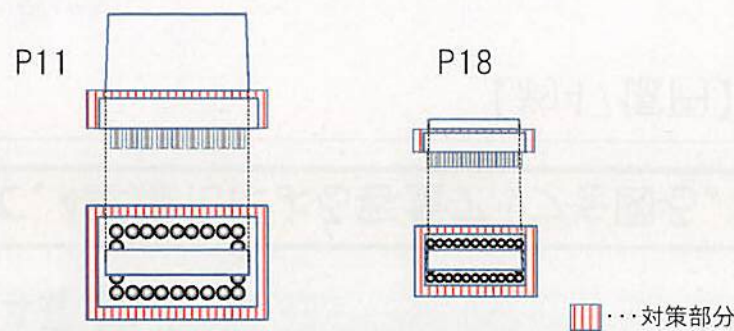
- 旧橋(多柱式鋼管基礎)
- ・フーチング増厚、増杭

【対策図】



- 新橋(井筒型鋼管矢板基礎)
- ・フーチング増厚

【対策図】

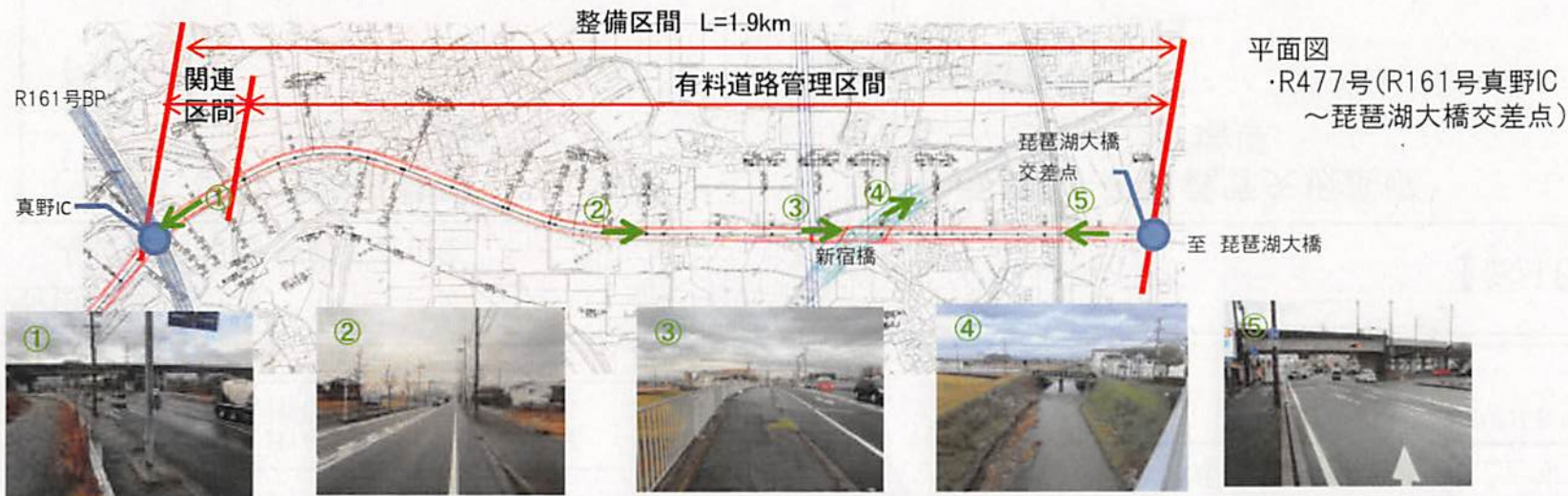


追加事業 — 周辺道路の4車線化 —

現在の混雑箇所、および将来の混雑予想箇所について、4車線化による容量アップを図る。

○4車線拡幅(大津側)

【約47億円】



○4車線拡幅(守山側)

【約16億円】



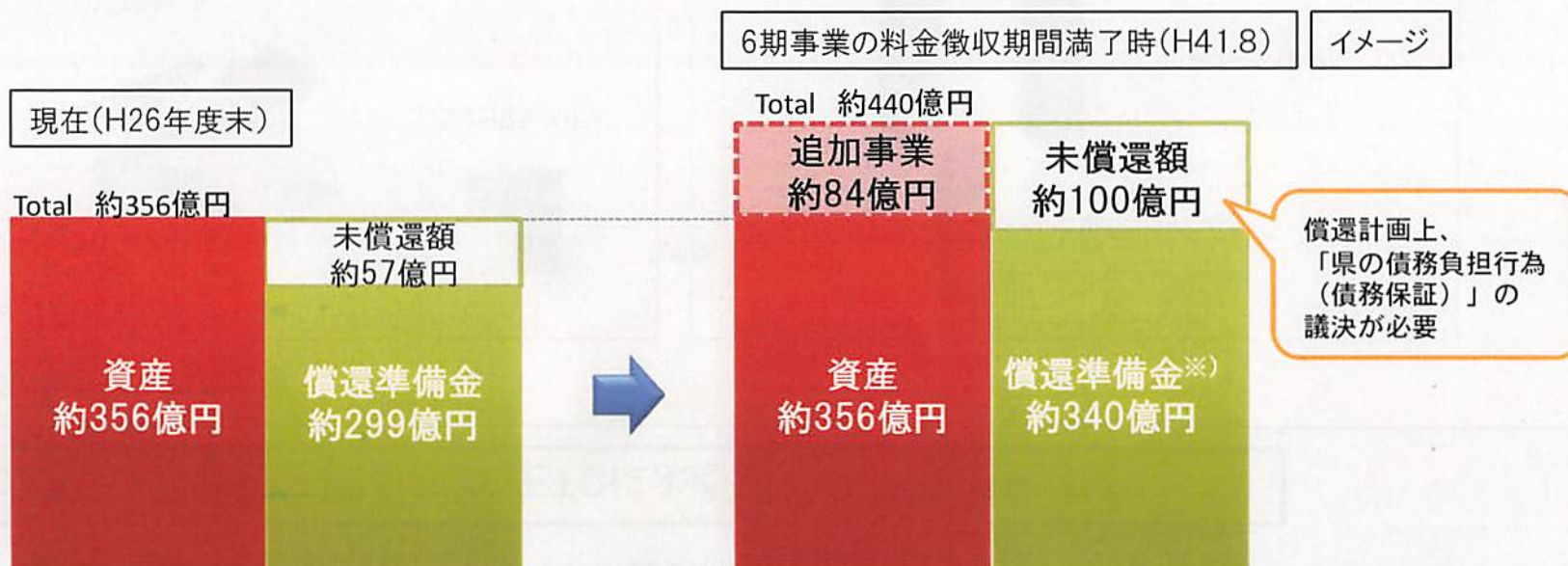
料金と料金徴収期間満了時の財務状況(イメージ)

設定料金は、現行料金より値下げ
未償還額は、「県の債務負担行為(債務保証)」にて補填

○料金表

	普通	軽自	大型Ⅰ	大型Ⅱ
①現行料金	200	150	300	710
②新料金(案)	150	100	200	500
20%割引を適用した場合	120	80	160	400

○財務状況

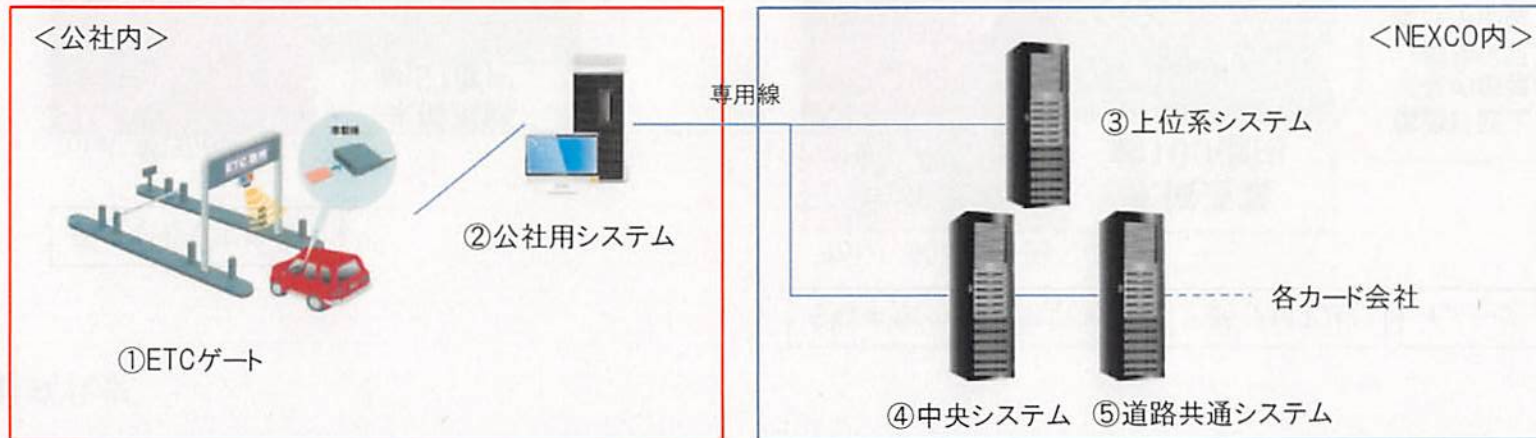


※)回数券割引、ETC割引を考慮

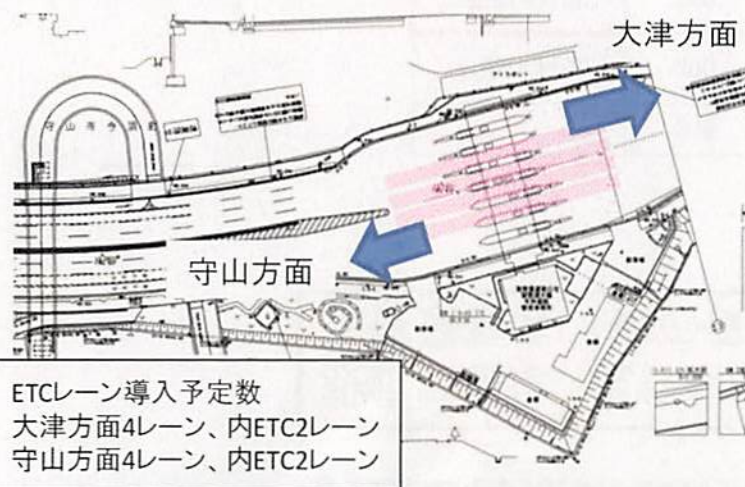
ETCの導入イメージ

利用者のストレス緩和を図るため、ETCによる料金収受を実施する。

1. ETC導入時のシステム構成



2. 料金所附図



3. 今後の予定

- 導入時期(予定);H31. 4~
- ・関係機関との調整・・・1年
- ・設計、工事・・・2年

4. 料金割引(イメージ)

- ・現行と同様の回数券による割引
- ・ETC搭載車に対する割引

琵琶湖大橋有料道路における今後のスケジュール

		滋賀県議会	県(公社)	国交省
8月			申請内容等の検討	
9月	9_○政策・土木交通常任委員会 15_◎9月議会開会			
10月	○政策・土木交通常任委員会			
11月	27_◎11月議会開会 ← 議案上程			
12月	○政策・土木交通常任委員会 21_◎11月議会閉会・議案採決 21_○議決証明(議長名) → 申請書提出			
1月			料金変更作業 ・新回数券印刷 ・看板・広報準備	変更許可
2月				
3月			料金変更作業 ・新回数券販売 ・システム等変更	
4月			新料金スタート	